

2020 RACE REPORT

ピレリスーパー耐久シリーズ 2020 第2戦 SUGO スーパー耐久 3 時間レース

#52 埼玉トヨペット Green Brave クラウン RS

2020年10月10日(土)~10月11日(日) スポーツランドSUGO(宮城県村田町)

■序盤に緊急ピットインを行うも、トラブルを克服し4位入賞

スーパー耐久第2戦がスポーツランド SUGO で行われた。ST-3クラスのエントリー台数は5台。予選日(土曜日)の天候は雨。 台風14号の接近により、午前中に行われた Gr.2の予選では赤旗が頻発。クラウン RS が出場する Gr.1の予選は遅れて行われると 思われたが、雨は激しくなる一方で、主催者は Gr.1の予選中止を発表。協議の結果、スターティンググリッドは第1戦のフィニッシュ順となった。前戦ウィナーであるクラウン RS のスタート位置は ST-3クラスの最前列。クラウン RS を投入して2戦目の Green Brave にとって、ほとんど走れなかったのは残念だが、リスクを冒すことなく、好位置を手に入れられたのは幸いとも言える。午後には決勝を想定したピット作業練習を入念に行い、この日は終了。クラウン RS は約1か月のインターバルの間、坂戸のモータースポーツファクトリーで改良を受けており、服部選手は富士の時と比べて、着実に進歩しているとコメントしている。

決勝日(日曜日)の天候は雨。台風の本州上陸こそ回避されたが、依然として雨が降り続いている。スタッフは朝から決勝に向けた準備を開始。ウエットタイヤの準備をする者、くもりどめを窓ガラスに塗る者など、誰もが忙しく動き回っている。12 時 20 分にコースイン。8 分間のウォームアップを行った後、クラウン RS がスターティンググリッドに向かう。ST-3 クラスのグリッドは Gr.1 の最後方となり、クラウン RS のグリッドはアウト側、24 番。コースイン直前に雨は上がっており、決勝レース中のドライタイヤへの交換もあり得る状況。スタートドライバーの吉田選手はトップをキープしたまま1コーナーへ。ハイポイントコーナーで#39RC350 に抜かれ、2 位でオープニングラップを終了する。3 位は#15 フェアレディ Z。#39RC350 のペースは吉田選手より速く、2 台の差はじわじわ開いていくが、吉田選手と#15 フェアレディ Z の間隔も広がっており、単独で周回を重ねる。ところが 10 周目の終わり、エンジンの異変を感じた吉田選手が緊急ピットイン。ボンネットの隙間から水煙が出ており、ピットは騒然となる。すぐにトラブル箇所を特定し、修復を行う店舗メカニックたち。川合選手が乗り込み、ピットロードにクルマを出したのはピットインから約 20 分後。ドライタイヤに交換して追い上げる作戦も検討されたが、再び雨が降り始めており、レインタイヤのままコースに復帰する。

川合選手の順位はトップから 13 周遅れの 4 位。トラブルの後遺症が心配されたが影響はなく、川合選手はトップグループを上回るペースで走行。42 周目には ST-3 クラス全体のファステストラップ、1 分 43 秒 529 をマークする。64 周目の終わりに川合選手がピットイン。服部選手に交代し、給油とタイヤ交換を行う。ピット作業には S 耐初参加の店舗メカニック 3 名が加わっているが、練習の成果を発揮。スムーズに服部選手を送り出す。上位とは大差がついているが、服部選手はあきらめることなく前を追う。89 周終了時にチェッカーが振られ、4 位入賞。表彰台フィニッシュこそ果たせなかったものの、貴重な 10 ポイントを獲得。1 位と同点のランキング 2 位につけている。

悲願の ST-3 クラスチャンピオン獲得に向けて、確かな一歩を記した Green Brave。次回、第3戦は昨年、ギリギリのところでチャンピオンを取り逃がし、悔しい思いをした岡山。今回の経験を活かし、再び表彰台の中央に立つことを期待したい。

決勝結果 (ST-3 クラス)

#52 埼玉トヨペット Green Brave クラウン RS (服部尚貴/吉田広樹/川合孝汰)

決勝:4位(89周、3時間01分30秒069) 予選:中止(第1戦の結果によりポールポジションスタート)



DRIVERS VOICE

【服部尚貴選手】

トラブルが出てしまったのでしょうがないです。その後は問題なく走れるようになっていました。ちょっと残念な結果でしたけ位はなまだチャンピオンを獲れる頑張ったと思いますので、次頑ったがしまけると思いますのり進んのドラングがビリティもとしたし、エンジンので乗ってがビリティもまされてスがビリティいます。1レーで、本すくなんと進化してどんどんいい方向に来ると思います。

【吉田広樹選手】

車内に煙が入ってきて、においがしはじめ、水温が上がったというアラームがつきました。上がり方が尋常じゃなく、タイミングがあるでいたのままピットに入れたのでが、ピットの入り口を過ぎてしまが、ピットの入り口を過ぎてした。運も含めて良かったと思います。しょうがないとけてしまったらいけないので。と思います。しょうがないのではでいたこういうことを繰り返さないように、他のカテゴリーでも活かせれば、無駄にはなりません。

周回数

101周

100周

100周

89周

0周

【川合孝汰選手】

24 時間の時、出る想定だったトラブルが出てなくて、今回出ているという話なので、年間を通しては想定内だったと思います。メカを究明して出られたので、結果とのでは残念ですが、今後のS計画のカテブリーには残念ですが、ラブリーにます。とかるレースだったと思してはは全人、普通通りに走れ、ピリーには関いないように、やれればいいと思っています。

ASSISTANT VOICE

【**深谷支店・成澤李衣】** 出張の初日 コースを見る

出張の初日、コースを見学する吉田選手のクルマに乗せてもらったのですが、命がといっていなり驚きました。命がといっことをあらためて実動分で、まカニックの真剣なで、大カニックの良りとがアシーとがアシーとがアシーとがアシーとがアシーとを気づくとがアシーとを気づく活かせればと思っています。

ST-3 クラス決勝結果

順位 車名(車両)

1 位: エアバスター WINMAX RC350 TWS(レクサス RC350) 2 位: 岡部自動車 RECARO フェアレディ Z(ニッサン フェアレディ Z)

3 位:HELM MOTORSPORTS RC350(レクサス RC350)

4 位:埼玉トヨペット Green Brave クラウン RS(トヨタ クラウン)

リタイア:QUEEN EYES 34Z(ニッサン フェアレディZ)

出走5台

ST-3 クラスポイントランキング

順位 TRACY SPORTS 1位 39 55 埼玉トヨペット Green Brave 52 55 2位 3位 15 OKABEJIDOSHA motorsport 44 4位 244 Max Racing 23 HELM MOTOR SPORTS 5位 62 12

PARTNERS



赤城車体工業株式会社 akasi body industry Co.Ltd.

akagi body industry Co.Ltd. http://akagishetalio Driving Mobile Media Innovation

アルパインマーケティング株式会社



EMG ルブリカンツ合同会社

Coolens

株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



赤城車体工業株式会社

株式会社 FM NACK5

omiya clean co.,ltd

D DAISHIN

大宮クリーン社・大進カーエアコン



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



株式会社クールホールディングス



埼群スリーボンド株式会社

埼玉トヨペットホールディングス

埼玉トヨペット

ホールディングス株式会社

株式会社三和広告社

> 三和位告社



JU 埼玉オートオークション



株式会社テレビ埼玉

DENSO

株式会社デンソーソリューション

Toy-Factory

株式会社トイファクトリー

インターナショナル

UNDER ARMOUR

株式会社ドーム

MODELLISTA

株式会社トヨタカスタマイジング &ディベロップメント **トヨタ モビリティパーツ株式会社**

トヨタモビリティパーツ株式会社

тоуота номе токуо

株式会社トヨタホーム東京



株式会社トヨタレンタリース新埼玉

梵 ハッポーライフ彩生

株式会社ハッポーライフ彩生

FUJI XECOX 🌖

富士ゼロックス埼玉株式会社



株式会社プロモーション

PRO COMPOSITE Carbon performance

株式会社プロモーション

1 丸和工業

丸和工業株式会社

【 第3戦 】10月31日~11月1日 岡山国際サーキット (岡山県美作市)